

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和4年 2月 7日

事業所名:レインボーハウス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	落ちついて過ごせるように工夫し、事故が起きないように支援している。	はい 13 どちらとも 2 いいえ 1	学習室を別にしており、学習や訓練に集中できる環境作りに努めます。
	2 職員の適切な配置	管理者 1名 児童発達支援管理責任者 1名 児童指導員 3名 保育士 2名	はい 13 どちらとも 3	ゆとりをもって支援できる職員配置ができるよう職員の確保に努めます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	入室にはスロープを備え、床はフラットになっている。トイレは様式で2室あり、1室は広い空間を確保している。壁やドアに注意喚起や行動喚起のポップを貼っている。	はい 13 どちらとも 1 いいえ 2	情報伝達の方法として、個々に合った絵や文字等工夫して対応します。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナ対策のため、玄関には手指消毒剤を設置し利用者が使用した玩具、手すり、机等は毎日消毒、手拭きタオルも個人別に事業所で準備している。送迎車の消毒も行っている。	はい 13 どちらとも 3	消毒を徹底し、清潔に努めます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月職員会議を実施し、ケース検討を行い支援状況や成果、プランの見直しや業務改善を行っている。	/	職員会議、ケース会議において現状分析を行い、業務改善を図っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		法人として外部評価の実施について検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人全体で実施		研修の機会があれば積極的に参加していきます。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	年2回以上保護者との面談等で聞き取りを行い個別支援計画に反映している。	/	保護者面談や送迎時に情報交換に努め、ニーズや課題把握に努めていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別のワークや作業訓練、集団でのダンスなどを実施している。		個々の支援に合った活動内容を検討し、計画に反映していきます。 保護者からの要望に応じて、個別で作業訓練を支援計画に入れていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	排泄誘導、日常生活動作、学習支援など実施。 面談時のニーズから項目を設定、支援内容を設定している。	はい 14 どちらも 1	個別のニーズの把握に努めます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等サービス計画に沿った適切な支援の実施	ケース記録と一緒にファイルし、いつでも確認し支援できるようにしている。	はい 15 わからない 1	職員間で支援計画の内容について確認し、情報共有に努めます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議を行い、行事計画、支援ツール作成等検討している。		目的を明確にしたプログラム作成に努めます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	季節行事に合わせた計画を行い、製作を実施している。長期休暇は、地域資源を利用し施設外支援を行っている。	コロナの関係で外出等に制限がある中、できる範囲で外出や工作の工夫をして頂き有難い。	平日は目的を明確にしたプログラムを定期的に立案し実施します。長期休暇では、普段体験できないものを企画し、施設外でのプログラムを実施していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	製作活動や季節行事を実施。製作の目的を設定し、それに合った内容を検討し実施しています。	はい 14 どちらも 1 ★月間予定も事前に配布されているので、活動の見通しがつけやすく、子供も「今日は〇〇をする」と楽しみに通うことができています。	色々な情報を収集し職員間でアイデアを出し合い、見本を作る中で、子供たちができるように工夫をして実施します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の利用予定者について、支援での注意点を確認しあっている。 全体で取り組む際の役割分担の打ち合わせをしている。		支援開始前に職員間で支援内容を確認し、終了後には当日の記録をとります。気づいた点を職員間で共有できるよう話し合いをします。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	保護者からの情報や気づいた点について、情報共有している。気になったことは、振り返りを行う。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、ケース記録を作成し、統一した支援を共有すると共に、ケース会議で今後の支援計画の作成に生かしている。		それぞれの利用者について状況を記録し、計画見直し時の参考に資するものとします。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	適宜保護者と面談、相談員及び学校・支援事業所との情報交換を行い、ケース会議により計画の見直しを行っている。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理者が参加している。		参加要請があれば児童発達支援管理者及び児童指導員等が参加します。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療ケアが必要な利用者はいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療ケアが必要な利用者はいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校送迎時にその日の情報提供を受けると共に、統一した支援となるよう相談員との情報交換にも努めている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	担当相談員を通じて情報の提供を行っている。		法人内の施設見学を予定しており、事業内容の説明をしていく予定。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	相談員との情報交換を行っている。 研修参加の案内があれば参加している。		学校や他事業所との連携は継続していきます。 研修があれば参加していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	長期休暇中、近くの公園で地域の学童の子供たちと一緒に、交流した。	はい 3 どちらとも 1 いいえ 6 わからない 5	機会があれば交流していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	未実施		検討します。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	創作など、お便りで次回作る物と目的を説明し、実物が見れるように見本を提示している。利用者の実費負担は契約時に説明している。	はい 14 どちらとも 1	契約時の説明並びに創作や行事案内について、引き続きお便り等で案内します。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング時に保護者のニーズを把握し、計画に入れる提案をするとともに、計画作成後に説明している。	はい 14 どちらとも 1	さらに丁寧に説明するように努めます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	モニタリング時や相談があった時に、悩み相談を受けると共に、家庭での支援方法に提案等支援を行っている。	はい 14 どちらとも 1	保護者の方の信頼を得て、悩みや相談をして頂けるよう努めます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にその日の様子をお伝えすると共に連絡帳に記載している。	はい 14 どちらとも 1	様子を伝えたり、家庭での様子を聞きながら、信頼を得ていくよう努めます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談があれば助言を行った後、継続して様子を観察し支援方法の検討を行っている。	はい 14 どちらとも 1	学校や他事業所との連携が必要な場合は連携を図りながら行います。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	未実施	はい 5 どちらとも 4 いいえ 2 わからない 4	今年度は、法人の施設見学を一緒に実施します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	その都度職員に報告し、適切な対応を話し合っている。	はい 5 どちらとも 1 いいえ 1 わからない 7	速やかに対応し、職員間で話し合い、苦情に対する対応及び業務改善に努めます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	施設としての新たな支援対応策の実施や利用者の反応などの情報を文章でお知らせすると共に、お迎え時に伝えている。 筆談での対応も行っている。	はい 14 どちらとも 1	伝達方法について更なる工夫をしています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	事業所の「おたより」で行事予定や報告を文書でお知らせすると共に、事業所玄関に掲示、また口頭でも説明をしている。	はい 13 どちらとも 1 わからない 1	行事予定などをお知らせし、情報発信に努める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	利用開始時に文書による取扱に対する説明をするとともに、チラシや映像で利用者個人が特定できるものを広報する場合には、保護者の承諾をいただくようにしている。	はい 13 どちらとも 2	今後も対応の徹底を図ります。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	一部未策定。 保護者にはモニタリングや契約時に伝えている。	はい 13 わからない 2	マニュアル作成に取り掛かります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	職員については火災時の避難訓練、消防訓練を年2回実施。 水害の避難訓練も実施。	はい 13 わからない 2	自然災害時の避難訓練についても実施を検討します。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人全体での研修に取り入れている。		職員全員が受講するよう努めます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ない場合として同意書を提出してもらっている。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	家族からの情報を書類に記載し一覧表を作成、職員間で情報を共有している。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が発生したものは記録に残し、職員間での情報共有、再発防止に努めている。		